

令和 7 年 度 定 時 総 会 資 料

も く じ

第 1 号議案	令和 6 年度事業報告及び収支決算報告について	1
	貸借対照表	8
	貸借対照表内訳表	9
	正味財産増減計算書	10
	正味財産増減計算書内訳表	12
	財産目録	14
	財務諸表に対する注記	15
	監査報告	17
第 2 号議案	任期満了に伴う役員の選任について	18

〔 注：令和 7 年度事業計画書及び収支予算書は当会ウェブページ
燈光会概要のディスクロージャー資料として開示中 〕

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び収支決算報告について

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

I 会員の状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

会 員 区 分	現 在 員	令 和 6 年 度 入 退 会 状 況		
		入 会 者	退 会 者	増 減
名 誉 会 員	36 名	2 名	2 名	0 名
普 通 会 員	1,060 名	35 名	115 名	△80 名
一 般 会 員	158 名	7 名	8 名	△1 名
全国賛助会員（個人）	51 名	14 名	17 名	△3 名
地域賛助会員（個人）	82 名	44 名	20 名	24 名
合 計	1,387 名	102 名	162 名	△60 名
団 体 会 員	14 名	3 名	0 名	3 名
全国賛助会員（団体）	1 名	0 名	0 名	0 名
地域賛助会員（団体）	0 名	0 名	0 名	0 名
合 計	15 名	3 名	0 名	3 名

II 事業概要

1 公益目的事業

(1) 灯台参観業務

- ① 参観灯台において、地元関係団体と協力して一般の方々への航路標識事業の周知啓蒙に努めた。

令和 6 年度の参観者数は 701,586 人であった。

- ② 自然災害、灯台改修工事等により、次のとおり参観業務を休止した。

- ・尻屋埼灯台： 令和 6 年 5 月 19 日
- ・出雲日御碕灯台： 令和 6 年 7 月 10 日～9 月 6 日、12 月 12 日～令和 7 年 1 月 28 日、2 月 26 日～28 日、3 月 4 日～3 月 6 日、3 月 18 日、21 日、22 日
- ・都井岬灯台： 令和 6 年 7 月 18 日～21 日、8 月 9 日
- ・犬吠埼灯台： 令和 6 年 7 月 12 日、8 月 30 日、9 月 25 日
- ・平安名埼灯台： 令和 6 年 10 月 5 日～令和 7 年 2 月 22 日
- ・塩屋埼灯台： 令和 6 年 11 月 18 日～12 月 23 日 ※土日を除く。
- ・残波岬灯台： 令和 7 年 3 月 17 日

- ③ 季節参観である尻屋埼灯台については、令和 6 年 4 月 7 日、入道埼灯台については、令和 6 年 4 月 6 日に業務を再開し、11 月 10 日まで実施した。

- ④ 参観灯台をPRするため、各灯台の魅力を伝える灯台リーフレット、ポスター等の作製・配布、ホームページ、インスタグラムなどソーシャルメディアを活用した各種情報の発信、各灯台入口に設置したイーゼル板により「のぼれる灯台の魅力」をアピールした。
- ⑤ 参観者及び地元関係者からのニーズに応え、通常の参観時間を延長し、日没から灯台点灯時における「夕暮参観」、「夜間参観」を犬吠埼、御前埼、安乗埼、潮岬及び残波岬灯台において実施し、灯台の魅力発信に努めた。
- ⑥ 灯台参観を一層楽しんでもらうために実施している灯台スタンプラリーは、年々人気が高まっており、すべての参観灯台の参観を達成された方が、令和5年度は168名のところ、今年度は、新たに166名の方が達成された。

(2) 展示室業務

- ① 11箇所の参観灯台に当会が設置している資料展示室を灯台参観に合わせ公開した。
- ② 施設・設備の修繕等について、今年度は、特に展示資料の老朽が著しかった犬吠埼灯台資料展示館の建物内外装の改修、展示リニューアル工事を完了したほか、その他、業務運営上、緊急を要するものについて実施した。
- ③ 志摩市、下関市から委託を受け、両市が設置している安乗埼、角島の各資料展示室の管理を行った。

(3) その他の周知広報業務

- ① 灯台記念日祝賀会について、令和6年11月1日、霞山会館「霞山の間」において、156周年灯台記念日祝賀会を開催し、約110名の出席者があった。
- ② 「灯台絵画コンテスト2024」について、例年どおり小・中学生を対象として、「灯台のある風景」をテーマとするとともに、犬吠埼灯台及び御前埼灯台の150周年にちなんで、両灯台を題材とした作品の募集を行ったところ、647点の応募があった。

応募作品については、9月19日及び20日の審査委員会^{※1}により各部門（小低、小高、中）9点の入賞作品計27点を選定するとともに、犬吠埼灯台及び御前埼灯台特別賞対象作品計6点を選定し、入賞作品の中から、特別賞（国土交通大臣賞）、海上保安庁長官賞及び燈光会会長賞各1点並びに各部門金賞1点、銀賞2点及び銅賞5点が決定されるとともに、犬吠埼灯台及び御前埼灯台の特別賞対象作品計6点の中から、特別賞（第三管区海上保安本部長賞2点、銚子市長賞1点、御前埼市長賞1点及び燈光会会長賞2点）が決定された。

表彰については、被表彰者の地元において、海上保安部長等から伝達していただくとともに、犬吠埼灯台及び御前埼灯台の特別賞については、それぞれ地元自治体が開催した記念イベントにおいて、伝達が行われた。

当該コンテスト入賞作品については、今年度リニューアルした犬吠埼灯台資料展示館内に、ギャラリースペースを設け、常設展示を行った。

※1：委員会委員：上野委員長、高橋副委員長、三野委員、不動委員、高野委員

- ③ 灯台を活用した地域振興を推進する自治体により結成された灯台活用推進市町村全国協議会との関係を強化するため、令和6年10月1日付にて、同協議会の連絡調整事務局を一般財団法人日本航路標識協会から引継ぎ、同協議会のホームページを新たに立ち上げるとともに、同協議会会員である銚子市が、令和6年11月16日及び17日に開催した「灯台ワールドサミット in 銚子」の支援を行った。

- ④ 参観灯台が所在する自治体との連携強化を図るため、当会会長が市村長等を表敬訪問し、意見交換を行った。

- ・令和6年4月8日 南房総市
- ・令和6年5月3日 御前崎市（御前埼灯台150周年記念式典）
- ・令和6年5月28日 男鹿市
- ・令和6年6月25日 読谷村
- ・令和6年7月31日 いわき市
- ・令和6年9月24日 下関市
- ・令和6年9月27日 串間市

- ⑤ その他、地域振興を図る市町村、航路標識協力団体、灯台愛好市民団体などと連携してイベント等を実施するとともに、航路標識に関する調査・研究、周知・広報、観光振興等の活動に積極的に支援・協力を行い、航路標識事業の周知啓蒙、発展に努めている。

<後援・連携>

- ・犬吠埼灯台夜間公開（ラストサマー実行委員会）
- ・灯台ワールドサミット in 銚子（銚子市）
- ・おまえざき灯台博覧会（御前崎市）

<地方自治体等>

- ・横須賀市内の入込観光客調査への協力（横須賀市）
- ・横須賀市内の観光ポイント巡りイベントへの協力（横須賀市）
- ・県内博物館施設の実情調査への協力（和歌山県教育庁）
- ・出雲日御碕灯台の参加者数調査への協力（出雲市）
- ・外国観光誘客促進事業への協力（千葉県）
- ・志摩市灯台活用推進協議会の諸活動への協力（志摩市）
- ・「富士を仰ぐ天女の灯台（資料展示企画展）」への協力（静岡市）
- ・宮崎県スタンプラリーへの協力（宮崎県）
- ・瀬戸内海国立公園指定90周年・大浜埼灯台設置130周年記念歴史展への協力（尾道市）

- ・ 出雲日御碕灯台ライトアップ事業への協力（出雲市）
- ・ いわきシーサイドスタンプラリーへの協力（一社・日本自動車連盟）
- ・ 灯台ワールドサミット in 銚子の実行委員会活動への協力（銚子市）
- ・ 御前埼灯台点灯 150 周年記念「風と灯台フェスティバル」への協力
（御前崎市他）

<報道関係>

- ・ 「横浜ミストリー」番組制作への出演、資料提供協力（You テレビ）
- ・ 「海と灯台」番組制作への資料提供協力（テレビ愛知）
- ・ 「灯台浪漫」番組制作への資料提供協力（テレビ愛知）
- ・ 「あっぱれ KANAGAWA 大行進」番組制作への資料提供協力（テレビ神奈川）

<個人、団体からの問合せ等への対応>

- ・ 地域と灯台の歴史を調査している郷土史家、灯台研究生、灯台に興味を持つ個人からの資料提供、問合せ、質問等に対応した。（延べ約 20 件）
- ・ 参観灯台のある市町村の観光協会や、一般財団法人船員保険会、公益財団法人日本海事広報協などの団体による会報誌作製などに係る灯台写真、情報の提供等に対応した。（延べ 20 件）
- ・ 尻屋埼灯台活用推進協議会の調査活動への協力（尻屋埼灯台活用協議会）

<情報誌等>

- ・ 旅行関連情報誌（WEB 版含む）を運営する「じゃらん」、「るるぶ」、「まっぷる」、「JTB パブリッシング」、「近鉄ニュース」などからの参観灯台の写真、参観情報等の資料依頼に対し、写真、図面のデータ提供、記載情報の校正・確認などによって対応した。（延べ 40 件）
- ⑥ 「美ら海フォトコンテスト」等、海上保安庁（管区本部、保安部等）が各地域で行う航路標識業務を周知する催し 22 件に対し、後援者として支援協力を実施した。
 - ⑦ 会誌「燈光」を隔月発行、関係先に配付し、航路標識事業の周知広報に努めた。
 - ⑧ 歴史的航路標識資料の適正な整理・保存のためデータベース化を進め、燈光会ホームページ上で「航路標識資料データベース」として公開し、情報の拡充を図った。
 - ⑨ のぼれる灯台（参観灯台）を題材とした灯台カレンダーを作製、配布することにより航路標識の周知広報に努めた。
 - ⑩ 全国の主要灯台に設置した航路標識周知板の表示の更新を行うとともに、効果の低下した周知板の撤去を実施した。
 - ⑪ 昨年度、船の科学館（公益財団法人日本海事科学振興財団）から譲渡受けした旧稚内灯台の第 3 等フレネルレンズについて、補修整備を行い、犬吠埼灯台資料展示館のリニューアルに合わせ、同展示館内において、保

存・展示を実施した。

- ⑫ 令和 6 年 11 月 21 日、海上保安庁及びスコットランド北部灯台局との間で交わされた犬吠埼灯台とマル・オブ・ギャロウェイ灯台との「姉妹灯台」提携に参画し、協力覚書に署名を行った。

(4) 航路標識協力団体^{※2} 関連手続き

「航路標識協力団体の指定に関するガイドライン」に基づき、令和 5 年度における各参観灯台の年次活動実績報告書を令和 6 年 6 月 25 日付にて海上保安庁あて提出した。

※2 航路標識法第 7 条に基づき、当会は、令和 4 年 2 月 22 日付にて、参観灯台ごとに航路標識協力団体の指定を受けた。

2 互助事業

- (1) 会誌「燈光」を隔月発行、会員に配付した。
- (2) 2025 年版「灯台カレンダー」を作製し、会員に配布した。
- (3) 海上保安学校本科情報システム課程、管制課程への教材等の助成を行った。
- (4) 無線従事者資格等航路標識業務に有用な資格取得者に対し奨励金を支給した。(内訳別紙)
- (5) 会員の子弟 6 名に、奨学金を貸与した。(内訳別紙)
- (6) 会員の遺族 15 名に対し、弔慰金を支給した。
- (7) 会員の慶事に対し、祝電 3 通を送付した。
- (8) 米寿を迎えた会員 7 名に記念品を贈呈した。

III 庶務事項

1 定時総会（令和 6 年 6 月 20 日）

令和 5 年度事業報告及び収支決算報告について審議し、原案のとおり承認可決された。

2 理事会

・ 第一回（令和 6 年 5 月 10 日）

令和 5 年度事業報告及び収支決算報告並びに令和 6 年度定時総会について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について報告があった。

・ 第二回（令和 6 年 8 月 29 日）（書面表決）

名誉会員の推薦について、書面表決により原案とおり承認可決された。

・ 第三回（令和 7 年 3 月 17 日）

令和 7 年度事業計画、令和 7 年度収支予算、名誉会員の推薦について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について、報告があった。

IV 登記事項等

令和 6 年 6 月 25 日 内閣府あて「令和 5 年度事業報告等」提出
審査完了

令和 7 年 3 月 21 日 内閣府あて「令和 7 年度事業計画等」提出
審査完了

V 事業報告の附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年度有技者資格等取得者内訳

別紙

資格等の種類	取得者数（名）
第一級陸上無線技術士	7
第二級陸上無線技術士	28
第一級施工管理技士（土木）	1
第二級施工管理技士（土木）	1
TOEIC	11
計	48

令和6年度奨学金貸与内訳

1 奨学金の貸与者数及び貸与額

令和7年3月31日現在

定員（名）	貸与者数（名）	年間貸与金額/名（円）	貸与額（円）
高等学校	1	300,000	300,000
専修学校	0		0
大学	5		1,400,000
合計	6		1,700,000

※大学生1名 第3期分辞退

2 返還者数及び返還金額

返還対象延べ数（名）	返還金額（円）
29	4,118,000

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

公益社団法人燈光会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	128,027,469	114,393,364	13,634,105
現金	58,045	100,929	-42,884
小口現金	18,703,034	17,941,989	761,045
普通預金	109,266,390	96,350,446	12,915,944
未収金	2,274,090	1,865,165	408,925
記念品	4,015,025	5,491,270	-1,476,245
前払費用	954,751	936,931	17,820
流動資産合計	135,271,335	122,686,730	12,584,605
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的事業特定資産	30,321,750	30,321,750	0
互助事業特定資産	71,890,796	71,890,796	0
法人会計特定資産	91,740,207	91,740,207	0
退職給付引当資産	35,995,384	31,038,802	4,956,582
建物	49,488,182	52,538,126	-3,049,944
構築物	994,389	1,266,506	-272,117
什器備品	17,424,016	12,949,845	4,474,171
特定資産合計	297,854,724	291,746,032	6,108,692
(2) その他固定資産			
敷金	6,219,360	6,219,360	0
奨学金貸付資産	16,036,000	18,454,000	-2,418,000
その他固定資産合計	22,255,360	24,673,360	-2,418,000
固定資産合計	320,110,084	316,419,392	3,690,692
資産合計	455,381,419	439,106,122	16,275,297
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,647,318	1,440,874	206,444
前受会費	1,216,000	704,000	512,000
預り金	918,473	897,479	20,994
流動負債合計	3,781,791	3,042,353	739,438
2. 固定負債			
退職給付引当金	35,995,384	31,515,042	4,480,342
固定負債合計	35,995,384	31,515,042	4,480,342
負債合計	39,777,175	34,557,395	5,219,780
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間助成金	21,847,273	25,104,231	-3,256,958
指定正味財産合計	21,847,273	25,104,231	-3,256,958
(うち特定資産への充当額)	(21,847,273)	(25,104,231)	(-3,256,958)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	393,756,971	379,444,496	14,312,475
(うち特定資産への充当額)	(240,012,067)	(235,602,999)	(4,409,068)
正味財産合計	415,604,244	404,548,727	11,055,517
負債及び正味財産合計	455,381,419	439,106,122	16,275,297

令和6年度 貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

公益社団法人燈光会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
		互助事業		
Ⅰ 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	4,971,128	23,607,454	99,448,887	128,027,469
現金	0	0	58,045	58,045
小口現金	0	0	18,703,034	18,703,034
普通預金	4,971,128	23,607,454	80,687,808	109,266,390
未収金	0	0	2,274,090	2,274,090
記念品	4,015,025	0	0	4,015,025
前払費用	0	0	954,751	954,751
流動資産合計	8,986,153	23,607,454	102,677,728	135,271,335
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
公益目的事業特定資産	30,321,750	0	0	30,321,750
互助事業特定資産	0	71,890,796	0	71,890,796
法人会計特定資産	0	0	91,740,207	91,740,207
退職給付引当資産	32,599,644	441,707	2,954,033	35,995,384
建物	48,961,495	0	526,687	49,488,182
構築物	994,389	0	0	994,389
什器備品	17,290,969	0	133,047	17,424,016
特定資産合計	130,168,247	72,332,503	95,353,974	297,854,724
(2) その他固定資産				
敷金	5,473,037	124,387	621,936	6,219,360
奨学金貸付資産	0	16,036,000	0	16,036,000
その他固定資産合計	5,473,037	16,160,387	621,936	22,255,360
固定資産合計	135,641,284	88,492,890	95,975,910	320,110,084
資産合計	144,627,437	112,100,344	198,653,638	455,381,419
Ⅱ 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	490,488	0	1,156,830	1,647,318
前受会費	435,000	781,000	0	1,216,000
預り金	0	0	918,473	918,473
流動負債合計	925,488	781,000	2,075,303	3,781,791
2. 固定負債				
退職給付引当金	32,599,644	441,707	2,954,033	35,995,384
固定負債合計	32,599,644	441,707	2,954,033	35,995,384
負債合計	33,525,132	1,222,707	5,029,336	39,777,175
Ⅲ 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
民間助成金	21,847,273	0	0	21,847,273
指定正味財産合計	21,847,273	0	0	21,847,273
(うち特定資産への充当額)	(21,847,273)	(0)	(0)	(21,847,273)
2. 一般正味財産				
一般正味財産合計	89,255,032	110,877,637	193,624,302	393,756,971
(うち特定資産への充当額)	(75,721,330)	(71,890,796)	(92,399,941)	(240,012,067)
正味財産合計	111,102,305	110,877,637	193,624,302	415,604,244
負債及び正味財産合計	144,627,437	112,100,344	198,653,638	455,381,419

令和6年度 正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

公益社団法人燈光会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,273,000	2,392,500	-119,500
特定資産受取利息	2,273,000	2,392,500	-119,500
受取会費	5,202,700	6,277,100	-1,074,400
普通会员	3,912,100	5,018,600	-1,106,500
一般・団体会員	902,600	838,500	64,100
記念日式典会費	388,000	420,000	-32,000
事業収益	10,489,050	10,901,200	-412,150
受託業務収益	3,516,050	3,809,100	-293,050
物品販売事業収益	6,973,000	7,092,100	-119,100
受取補助金等	3,256,958	7,366,574	-4,109,616
受取国庫補助金等	0	3,740,000	-3,740,000
受取補助金等振替額	3,256,958	3,626,574	-369,616
受取寄附金	210,734,766	211,931,378	-1,196,612
参観寄附金	210,475,800	211,685,400	-1,209,600
賛助寄附金	252,000	237,000	15,000
一般寄附金	6,966	8,978	-2,012
雑収益	385,798	365,344	20,454
受取利息	56,707	1,294	55,413
雑収益	329,091	364,050	-34,959
経常収益計	232,342,272	239,234,096	-6,891,824
(2) 経常費用			
事業費	202,903,662	190,266,097	12,637,565
役員報酬	11,711,691	11,469,188	242,503
給料手当	76,783,441	70,866,260	5,917,181
臨時雇賃金	17,381,721	16,898,354	483,367
退職給付費用	5,771,231	5,082,297	688,934
法定福利費	12,938,050	12,897,174	40,876
福利厚生費	425,293	289,998	135,295
会議費	476,458	194,267	282,191
記念式典費	1,131,350	1,362,350	-231,000
旅費交通費	3,260,716	2,071,630	1,189,086
通信運搬費	3,653,430	4,215,359	-561,929
減価償却費	10,404,860	10,017,455	387,405
消耗什器備品費	151,300	141,510	9,790
消耗品費	3,479,214	5,002,905	-1,523,691
記念品作製費	5,476,450	4,994,774	481,676
修繕費	9,547,036	5,054,531	4,492,505
印刷製本費	6,528,659	7,727,703	-1,199,044
光熱水料費	2,866,178	2,805,610	60,568
賃借料	15,799,193	14,655,130	1,144,063
保険料	599,470	536,720	62,750
諸謝金	440,800	623,700	-182,900
租税公課	18,300	8,200	10,100
交際費	3,000	5,350	-2,350
周知広報活動費	2,332,533	2,966,747	-634,214
共済互助金	1,566,344	1,355,331	211,013
諸会費	30,000	30,000	0
委託費	8,858,194	7,456,864	1,401,330
表彰費	492,474	742,723	-250,249
雑費	776,276	793,967	-17,691

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	15,096,112	13,133,557	1,962,555
役員報酬	3,903,897	3,823,063	80,834
給料手当	2,513,418	1,945,253	568,165
退職給付費用	759,081	728,273	30,808
法定福利費	930,918	798,046	132,872
福利厚生費	19,501	10,758	8,743
会議費	737,469	844,239	-106,770
旅費交通費	250,032	305,444	-55,412
通信運搬費	427,782	419,789	7,993
減価償却費	92,407	90,152	2,255
消耗品費	310,685	274,196	36,489
印刷製本費	183,784	442,738	-258,954
光熱水料費	53,788	55,023	-1,235
賃借料	1,595,896	1,549,158	46,738
保険料	14,500	14,460	40
租税公課	2,900	1,300	1,600
交際費	42,960	36,000	6,960
諸会費	1,072,714	30,000	1,042,714
委託費	1,403,510	1,367,990	35,520
雑費	780,870	397,675	383,195
経常費用計	217,999,774	203,399,654	14,600,120
評価損益等調整前当期経常増減額	14,342,498	35,834,442	-21,491,944
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	14,342,498	35,834,442	-21,491,944
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	347,380	-347,380
投資有価証券償還損	0	347,380	-347,380
固定資産除却損	30,023	10	30,013
建物除却損	1	2	-1
什器備品除却損	30,022	8	30,014
経常外費用計	30,023	347,390	-317,367
当期経常外増減額	-30,023	-347,390	317,367
他会計振替前当期一般正味財産増減額	14,312,475	35,487,052	-21,174,577
当期一般正味財産増減額	14,312,475	35,487,052	-21,174,577
一般正味財産期首残高	379,444,496	343,957,444	35,487,052
一般正味財産期末残高	393,756,971	379,444,496	14,312,475
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-3,256,958	-3,626,574	369,616
当期指定正味財産増減額	-3,256,958	-3,626,574	369,616
指定正味財産期首残高	25,104,231	28,730,805	-3,626,574
指定正味財産期末残高	21,847,273	25,104,231	-3,256,958
III. 正味財産期末残高	415,604,244	404,548,727	11,055,517

令和6年度 正味財産増減計算書内訳表

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

公益社団法人燈光会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
		互助事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	383,600	682,000	1,207,400	2,273,000
特定資産受取利息	383,600	682,000	1,207,400	2,273,000
受取会費	1,290,600	3,912,100	0	5,202,700
普通会员	0	3,912,100	0	3,912,100
一般・団体会員	902,600	0	0	902,600
記念日式典会費	388,000	0	0	388,000
事業収益	10,489,050	0	0	10,489,050
受託業務収益	3,516,050	0	0	3,516,050
物品販売事業収益	6,973,000	0	0	6,973,000
受取補助金等	3,256,958	0	0	3,256,958
受取補助金等振替額	3,256,958	0	0	3,256,958
受取寄附金	174,909,856	0	35,824,910	210,734,766
参観寄附金	174,694,914	0	35,780,886	210,475,800
賛助寄附金	209,160	0	42,840	252,000
一般寄附金	5,782	0	1,184	6,966
雑収益	75,370	251,928	58,500	385,798
受取利息	2,970	14,328	39,409	56,707
雑収益	72,400	237,600	19,091	329,091
経常収益計	190,405,434	4,846,028	37,090,810	232,342,272
(2) 経常費用				
事業費	197,689,872	5,213,790		202,903,662
役員報酬	11,399,379	312,312		11,711,691
給料手当	76,280,758	502,683		76,783,441
臨時雇賃金	17,381,721	0		17,381,721
退職給付費用	5,682,415	88,816		5,771,231
法定福利費	12,819,782	118,268		12,938,050
福利厚生費	422,449	2,844		425,293
会議費	476,458	0		476,458
記念式典費	1,131,350	0		1,131,350
旅費交通費	3,260,716	0		3,260,716
通信運搬費	3,201,007	452,423		3,653,430
減価償却費	10,404,860	0		10,404,860
消耗什器備品費	151,300	0		151,300
消耗品費	3,458,864	20,350		3,479,214
記念品作製費	5,039,629	436,821		5,476,450
修繕費	9,547,036	0		9,547,036
印刷製本費	5,150,675	1,377,984		6,528,659
光熱水料費	2,855,420	10,758		2,866,178
賃借料	15,549,189	250,004		15,799,193
保険料	599,470	0		599,470
諸謝金	440,800	0		440,800
租税公課	18,300	0		18,300
交際費	3,000	0		3,000
周知広報活動費	2,332,533	0		2,332,533
共済互助金	0	1,566,344		1,566,344
諸会費	30,000	0		30,000
委託費	8,858,194	0		8,858,194
表彰費	492,474	0		492,474
雑費	702,093	74,183		776,276

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
		互助事業		
管理費			15,096,112	15,096,112
役員報酬			3,903,897	3,903,897
給料手当			2,513,418	2,513,418
退職給付費用			759,081	759,081
法定福利費			930,918	930,918
福利厚生費			19,501	19,501
会議費			737,469	737,469
旅費交通費			250,032	250,032
通信運搬費			427,782	427,782
減価償却費			92,407	92,407
消耗品費			310,685	310,685
印刷製本費			183,784	183,784
光熱水料費			53,788	53,788
賃借料			1,595,896	1,595,896
保険料			14,500	14,500
租税公課			2,900	2,900
交際費			42,960	42,960
諸会費			1,072,714	1,072,714
委託費			1,403,510	1,403,510
雑費			780,870	780,870
経常費用計	197,689,872	5,213,790	15,096,112	217,999,774
評価損益等調整前当期経常増減額	-7,284,438	-367,762	21,994,698	14,342,498
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	-7,284,438	-367,762	21,994,698	14,342,498
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	30,023	0	0	30,023
当期経常外増減額	-30,023	0	0	-30,023
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-7,314,461	-367,762	21,994,698	14,312,475
他会計振替額	8,000,000	0	-8,000,000	0
当期一般正味財産増減額	685,539	-367,762	13,994,698	14,312,475
一般正味財産期首残高	88,569,493	111,245,399	179,629,604	379,444,496
一般正味財産期末残高	89,255,032	110,877,637	193,624,302	393,756,971
II. 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	-3,256,958	0	0	-3,256,958
当期指定正味財産増減額	-3,256,958	0	0	-3,256,958
指定正味財産期首残高	25,104,231	0	0	25,104,231
指定正味財産期末残高	21,847,273	0	0	21,847,273
III. 正味財産期末残高	111,102,305	110,877,637	193,624,302	415,604,244

令和6年度 財産目録

令和7年 3月31日現在

公益社団法人燈光会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	事務局手元金	運転資金として	58,045
	小口現金	各支所	保管金＋運転資金として	18,703,034
	普通預金	普通預・貯金	運転資金として	109,266,390
		ゆうちょ銀行	共通汎用口座	1,175,872
		三井住友銀行公務部	公益目的事業会計	3,795,256
		三井住友銀行公務部	収益事業等会計・互助(除奨学金)	2,844,186
		三井住友銀行公務部	収益事業等会計・互助・奨学金	20,763,268
		三井住友銀行公務部	法人会計	80,687,808
	未収金		電子決済利用分参観寄付金他1件	2,274,090
	記念品	日本の灯台50選他6種在庫品	販売用	4,015,025
	前払費用		事務局4月分家賃他2件	954,751
流動資産合計				135,271,335
(固定資産) 特定資産				297,854,724
	公益目的事業特定資産			30,321,750
	投資有価証券 (一般正味財産)	野村證券	公益目的事業財産であり、運用益を公益目的事業の財源としている。	30,321,750
	互助事業特定資産			71,890,796
	投資有価証券 (一般正味財産)	野村證券	互助事業財産であり、運用益を互助事業の財源としている。	71,890,796
	法人会計特定資産			91,740,207
	投資有価証券 (一般正味財産)	野村證券	法人会計財産であり、運用益を管理費の財源としている。	91,740,207
	退職給付引当資産			35,995,384
	定期預金	三井住友銀行公務部	職員の退職給付に備えるため	35,995,384
	建物			49,488,182
	建物 (指定正味財産)	支所詰所9件他	各支所・各参観灯台にて公益目的事業に使用している。	21,847,201
	建物 (一般正味財産)	灯台資料展示室10件他		27,640,981
	構築物			994,389
	構築物 (指定正味財産)	航路標識周知板	各支所・各参観灯台にて公益目的事業に使用している。	27
	構築物 (一般正味財産)	航路標識野外展示板他		994,362
	什器備品			17,424,016
	什器備品 (指定正味財産)	灯台資料展示室展示品	各支所・各参観灯台にて公益目的事業、事務局にて法人会計に使用している。	45
	什器備品 (一般正味財産)	パソコン一式他		17,423,971
その他固定資産				22,255,360
	敷金	合同会社REGAL	事務局(西新橋ビル3F)	6,219,360
	奨学金貸付資産	奨学金貸与者	奨学金	16,036,000
固定資産合計				320,110,084
資産合計				455,381,419
(流動負債)	未払金	三井住友銀行公務部	社会保険料(事業者負担分)他16件	1,647,318
	前受会費 (普通会员分)	ゆうちょ銀行	令和7年度分	1,216,000
	(一般・団体会員分)	三井住友銀行公務部		781,000
				435,000
	預り金	三井住友銀行公務部	社会保険料(個人負担分)	918,473
流動負債合計				3,781,791
(固定負債)	退職給付引当金	三井住友銀行公務部	職員の退職給付に備えるため	35,995,384
固定負債合計				35,995,384
負債合計				39,777,175
正味財産				415,604,244

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的有価証券……取得価額によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、構築物及び什器備品……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) 表示方式等の変更

なし

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的事業特定資産	30,321,750	0	0	30,321,750
会員互助事業特定資産	71,890,796	0	0	71,890,796
法人会計特定資産	91,740,207	0	0	91,740,207
退職給付引当資産	31,038,802	5,448,888	492,306	35,995,384
資産取得積立資産	0	0	0	0
建物	52,538,126	6,102,000	9,151,944	49,488,182
構築物	1,266,506	0	272,117	994,389
什器備品	12,949,845	17,121,500	12,647,329	17,424,016
合 計	291,746,032	28,672,388	22,563,696	297,854,724

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
公益目的事業特定資産	30,321,750	(0)	(30,321,750)	(0)
会員互助事業特定資産	71,890,796	(0)	(71,890,796)	(0)
法人会計特定資産	91,740,207	(0)	(91,740,207)	(0)
退職給付引当資産	35,995,384	(0)	(0)	(35,995,384)
資産取得積立資産	0	(0)	(0)	(0)
建物	49,488,182	(21,847,201)	(27,640,981)	(0)
構築物	994,389	(27)	(994,362)	(0)
什器備品	17,424,016	(45)	(17,423,971)	(0)
合 計	297,854,724	(21,847,273)	(240,012,067)	(35,995,384)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	197,119,410	147,631,228	49,488,182
構 築 物	98,965,954	97,971,565	994,389
什 器 備 品	157,418,521	139,994,505	17,424,016
合 計	453,503,885	385,597,298	67,906,587

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
灯台資料展示室補助金	日本財団他	25,104,205	0	3,256,958	21,847,247	指定正味財産
航路標識周知板補助金	日本財団	17	0	0	17	指定正味財産
航路標識展示板補助金	日本宝くじ協会	9		0	9	指定正味財産
合 計		25,104,231	0	3,256,958	21,847,273	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	3,256,952
経常外収益への振替額	0
建物除却損失による振替額	0
什器備品除却損失による振替額	6
合 計	3,256,958

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3で記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	31,515,042	6,530,312	2,049,970	0	35,995,384

令和7年4月25日

公益社団法人 燈光会
会 長 岩 崎 貞 二 殿

公益社団法人 燈光会
監 事 岩 崎

孝 

監 事 大 平 栄 司



事業報告及び収支決算報告に関する監査報告

公益社団法人燈光会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の事業報告及び収支決算報告に関する監査をいたしました。

その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席等し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及び収支決算報告について検討いたしました。

2 監査意見

事業報告書及び財務諸表等を監査した結果、法令及び定款に従い、事業報告書は正確であり、財務諸表等も適正に処理、記載されているものと認めます。

以上

第 2 号議案 任期満了に伴う役員の選任について

現役員の任期は、定款第 25 条により令和 7 年度定時総会の終結時までとなるため、役員の選任を行う。

1 選任理事

定款第 22 条により理事を選任することとし、次期理事候補者を下記のとおりとしたい。

① 理 事 久 保 成 人 新 任

(参考：岩崎理事 退任)

② 理 事 上 野 紘 重 任

③ 理 事 山 口 和 徳 重 任

(参考：三宅理事 退任)

④ 理 事 今 津 隼 馬 重 任

⑤ 理 事 加護谷 元 基 新 任

(参考：遠藤理事 退任)

⑥ 理 事 菊 池 至 重 任

⑦ 理 事 藤 岡 洋 保 重 任

⑧ 理 事 不 動 真 優 重 任

(新理事 略 歴)

久 保 成 人 (くぼ しげと) (昭和 29 年 1 月 15 日生) 71 才

昭和 52 年 3 月 京都大学法学部 卒業

昭和 52 年 4 月 運輸省 入省

平成 17 年 8 月 国土交通省航空局監理部長

平成 19 年 7 月 国土交通省鉄道局次長

平成 21 年 7 月 海上保安庁次長

平成 22 年 8 月 国土交通省鉄道局長

平成 24 年 9 月 国土交通省大臣官房長

平成 25 年 8 月 国土交通省観光庁長官

令和元年 6 月 株式会社共立メンテナンス社外取締役 (現任)

令和 4 年 4 月 東武トップツアーズ株式会社 代表取締役会長執行役員 (～令和 7 年 3 月)

令和 7 年 3 月 東武タワースカイツリー株式会社 顧問 (現任)

加護谷 元 基（かごたに もと基）（昭和 56 年 3 月 18 日生） 44 才
平成 17 年 3 月 京都産業大学外国語学部 卒業
平成 20 年 10 月 株式会社 日本海事新聞社 入社
平成 31 年 4 月 同上 メディア事業局営業部長
令和 4 年 4 月 同上 執行役員 経営企画局長（現任）
令和 4 年 6 月 公益社団法人日本海洋少年団連盟 理事（現任）

2 選任監事

定款第 22 条により監事を選任することとし、次期監事候補者を下記のとおり
としたい。

① 監 事 大 平 栄 司 重 任

② 監 事 土 崎 弘 志 新 任

（参考：岩崎監事 退任）

（新監事 略 歴）

土 崎 弘 志（つちざき ひろし）（昭和 33 年 1 月 2 日生） 67 才
昭和 51 年 4 月 海上保安庁入庁
平成 21 年 4 月 海上保安庁交通部計画運用課高度航行援助推進調整官
平成 24 年 4 月 留萌海上保安部次長
平成 26 年 4 月 小樽海上保安部次長
平成 28 年 4 月 海上保安庁交通部安全対策課安全情報提供センター所長
平成 30 年 4 月 横須賀海上保安部交通課専門官
令和 4 年 3 月 海上保安庁退職
現在に至る

《参 考》 「定款」

(役員の設置)

第21条 本会に、次の役員を置く。

- 一 理事6人以上9人以内
- 二 監事2人以内
- 2 理事のうちから会長及び副会長を各1人置く。
- 3 前項の会長及び副会長をもって法人法上の代表理事とする。
- 4 代表理事以外の理事のうち専務理事及び常務理事を各1人置く。
- 5 前項の専務理事及び常務理事をもって法人法第91条第1項第二号の業務執行理事とする。

(役員の選任等)

第22条 理事及び監事は、総会において正会員の中から選任する。ただし、総会で必要と認めたときは、正会員以外から理事及び監事を選任することができる。

- 2 会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、理事又は本会の使用人を兼ねることができない。
- 4 各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族その他特別の関係がある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。
- 5 他の同一の団体（公益法人を除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

(役員の任期)

第25条 役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員は、第21条で定めた役員の員数が欠けた場合は、辞任又は任期満了後でも、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。